

研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
永井良三、武藤正樹、今中雄一、大西 真、北村 聖	「医療の質と安全管理」	臨床雑誌「内科」	第9 2巻第6号	1149-1161	2003年
渡部生聖、林同文、今井靖、光山訓、瀬戸久美子、新谷隆彦、橋口猛志、野口清輝、真鍋一郎、戸辺一之、山崎力、永井良三	医療安全に資する診療情報の体系化と先端情報処理技術の適用	社会技術研究論文集		383-390	2003年
大江和彦	標準的電子カルテの考え方と機能モデル	新医療	Vol. 31 (7)	73-76	2004
大江和彦	医療安全に果たすITの役割	医療安全	Vol. 1 No. 2	10-14	2004
大江和彦	医療情報の標準化-個別規格の標準化から全体の標準化へ	映像情報Medical	Vol. 36 No. 13 (733)	1420-1424	2004
林同文、永井良三	循環器疾患における臨床情報管理システムとゲノム医療への応用	実験医学	Vol. 23 No. 4	637-644	2005
清水孝雄、永井良三、飯塚悦功、上原鳴夫	総合討論 (第127回日本医学会シンポジウム-医学・医療安全の科学)	第127回日本医学会シンポジウム (2004年8月)		131-139	2005
永井良三	日本の医療制度におけるマンパワーの問題	「21世紀の保健医療を考える—我が国にあるべき姿を求めて—」 (ファイザー株式会社)		212-215	2005
永井良三	特定機能病院の医療安全対策に資する標準クリニカル・インディケータの開発に関する研究	厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業「特定機能病院の医療安全対策に資する標準クリニカル・インディケータの開発に関する研究 (H16-医療-003)」平成16年度総括・分担研究報告書		1月4日	2005
永井良三	オーバerview (日本医学会/第127回日本医学会シンポジウム講演要旨 医学・医療安全の科学)	日本医師会雑誌	Vol. 134, No. 3	455-457	2005
永井良三	医療機関の機能分担と大学病院の役割	日本医師会雑誌		18-20	2005
永井良三	大学病院における医療安全への対応	安全医学	Vol. 2, No. 1	3月6日	2005
山本雄士、永井良三	医療現場でみる労働の質と量	内科	Vol. 96, No. 2	379-381	2005
橋口猛志、林同文、興梠貴英、真鍋一郎、永井良三	医療安全向上に向けた包括的アプローチと社会技術の実装	社会技術研究論文集	Vol. 3	196-204	2005
郡司俊秋、大西 真	検査値とケアのポイント	医学書院			2005
大西 真	腹の病気の症状と手当	家庭の医学			2005

大西 部司真	ウイルソン病、看護のための最新医学講座	医学書院		205-208	2005
永井良三、大西真(座長)、柏野聡彦、村井佐知子	臨床指標による大学病院の医療の質・安全・患者満足度に関する調査報告書	全国医学部長・病院長会議 (東京大学医学部附属病院 医療の質評価委員会・臨床指標検討WG)			2005
大西 真	事例 大学病院の例 ページ(「臨床指標の実際—医療の質をはかるために」—)	じほう出版 監修 医療マネジメント学会、		85-108	
柏野聡彦	大学病院の社会的役割等に関する指標の研究、厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業 特定機能病院の医療安全対策に資する標準クリニカル・インディケータの開発に関する研究(H16-医療-003)平成16年度 総括・分担研究報告書				2005
村井佐知子	大学病院における患者満足度および職員満足度に関する指標の研究、厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業 特定機能病院の医療安全対策に資する標準クリニカル・インディケータの開発に関する研究(H16-医療-003)平成16年度 分担研究報告書、				2005
永井良三、飯塚悦功(対談)	医療の質・安全の確保に向けて 医療界と工業界でシステム構築へ(21世紀の医をつくる)	ばんぼう		46-49	2006
永井良三	基礎研究と医療の融合をめざす—東京大学先端医療	バイオテクノロジージャーナル	Vol. 6, No. 2	183-187	2006
永井良三	社会技術の開発・実装事例 I [個別分野型]	「安全安心のための社会技術」(堀井秀之編集、東京大学出版会)		19-39	2006
永井良三、飯塚悦功(対談)	医療の質・安全の確保に向けて 医療界と工業界でシステム構築へ(21世紀の医をつくる)	ばんぼう		46-49	2006
澤城大悟、鈴木亨、山崎力、永井良三	循環器疾患におけるバイオインフォマティクス	「Annual Review 循環器」(矢崎義雄、山口徹、高本眞一、中澤誠編集、中外医学社)		121-126	2006
永井良三	基礎研究と医療の融合をめざす—東京大学先端医療	バイオテクノロジージャーナル	6	183-187	2006
林同文、山崎力、永井良三	新しい先端技術を活用した循環器領域における臨床試験手法の紹介	循環器専門医	14	75-81	2006
浅香正博、永井良三	大学病院が生き残るために	Frontiers in Gastroenterology	11	99-107	2006
永井良三	東大病院の医療安全対策	品質	36	208-213	2006
片岡一則、永谷憲歳、板井昭子、佐久間一郎、(司会)永井良三	明るい未来医療とその課題	HUMAN SCIENCE	17		2006
永井良三	医療における近代化と情報化	日立評論	88	9	2006
高本眞一、鈴木亨、永井良三	大動脈瘤・大動脈解離—診断と治療へのアプローチ	「大動脈瘤・大動脈解離」(最新医学別冊、永井良三編集)		187-192	2006
門脇孝(総司会・レビュー)、永井良三、鈴木則宏、伊藤貞嘉、伊藤裕	生活習慣病の包括的管理	Pharma Medica	24	98-103	2006
竹中裕之、児玉直樹、橋口猛志、林 同文	インターネット上で動く自動健康データマイニングシステム	高崎健康福祉大学紀要	3月号第5号	1-11	2006
竹内裕之、児玉直樹、橋口猛志、林 同文	個人健康管理システムのための自動相関ルール抽出アルゴリズム	DBSJ Letters	6月号5(1)		2006
竹内裕之、児玉直樹、橋口猛志、林 同文	個人健康管理を目的とした健康データマイニングシステム	DEWS		1B-i11	2006
Takeuchi H, Kodama N, Hashiguchi T, Hayashi D.	Automated Healthcare Data Mining Based on a Personal Dynamic Healthcare System.		28th Annual International IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(EMBS)		2006

Hideo YASUNAGA, Hiroo IDE, Tomoaki IMAMURA, and Kazuhiko OHE	Women's Anxieties Caused by False Positives in Mammography Screening: A Contingent Valuation Survey.	Breast Cancer Research and Treatment	online First	1月6日	2006
Hideo YASUNAGA, Hiroo IDE, Tomoaki IMAMURA, and Kazuhiko OHE	Influence of Japan's New Diagnosis Procedure Combination-Based Payment System on the Surgical Sector: Does it Really Shorten the Hospital Stay?	Surgery Today	36(7)	577-585	2006
Yuki Sumita, Mami Takataa, Keiju Ishitsukab, Yasuyuki Tominaga and Kazuhiko OHE	Building a reference functional model for EHR systems	International Journal of Medical Informatics	Article		2006
Hideo YASUNAGA, Hiroo IDE, Tomoaki IMAMURA, and Kazuhiko OHE	The measurement of willingness to pay for mass cancer screening with whole-body PET (positron emission tomography).	Annals of Nuclear Medicine	Vol.20 No.7		2006
康永秀生、井出博生、今村知明、大江和彦	保健医療サービスに対する仮想評価法 (Contingent Valuation Method) 本邦研究のレビューと海外研究の概要	日本公衛誌	第53巻第11号	818-830	2006
大江和彦	医療情報システムと医療の質・安全	品質,	36(2), 29-36	(175-182),	2006
大江和彦	IT化のメリットが感じられる医療情報システムに向けて	映像情報Medical,	vol.38 no.13	1291-1295	2006
柏野俊彦、村井佐知子、大西真、林同文、興梠貴英、永井良三	大学病院における患者満足度および職員満足度に関する研究	医療の質・安全学会第1回学術集会抄録集,		121	2006
永井良三	日本の医療におけるアクセス、コスト、質	胸部外科	60	136-140	2007
岡田吉弘、興梠貴英、林同文	心不全」診療における医療のIT化 Information technologies and telemedicine for management of congestive heart failure	日本臨牀	増刊号		2007
大西 真	先端医療を実現するために	e-clinician,	vol.54	no.555	2007

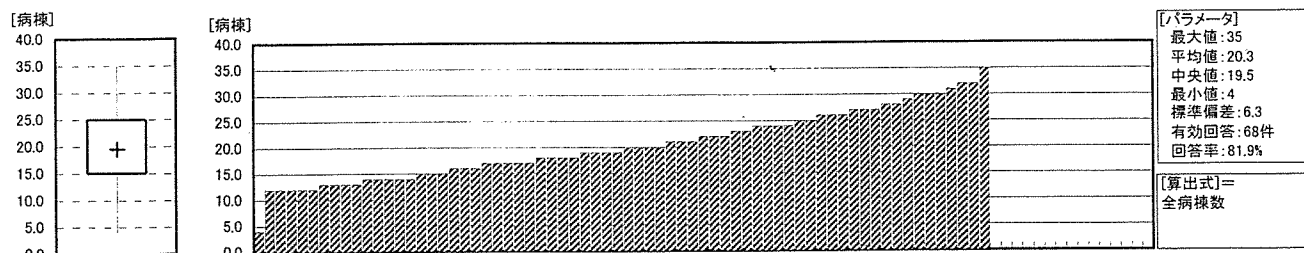
書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
永井良三、山崎力、林同文(監修)、興梠貴英(編集)	循環器大規模臨床試験要約集		循環器大規模臨床試験要約集	オーシーシー・ジャパン	日本	2005	
林同文、山崎力	EBMの実践と定義 心疾患病学		EBMの実践と定義 心疾患病学	朝倉書店	日本	2005	406-420
林同文、永井良三	社会技術の開発・実装事例 I (個別分野型)、1. 医療安全達成のための診療ナビゲーションシステム	堀井秀之編	「安全安心のための社会技術」	東京大学出版会	日本	2006	19-39
永井良三、山崎力、林同文	循環器大規模臨床試験要約集 2004 年度版		循環器大規模臨床試験要約集 2004 年度版	オーシーシー・ジャパン	日本		

参考資料（平成17年度データの例）
（平成19年2月28日時点）

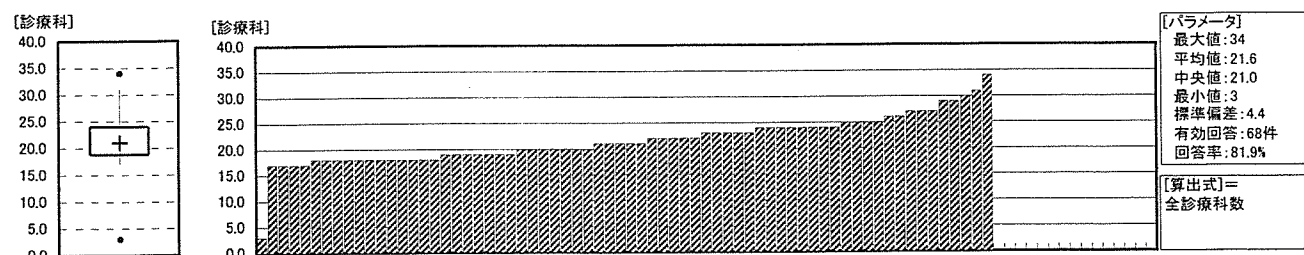
調査項目I-1 1. 院内組織

7.全病棟数



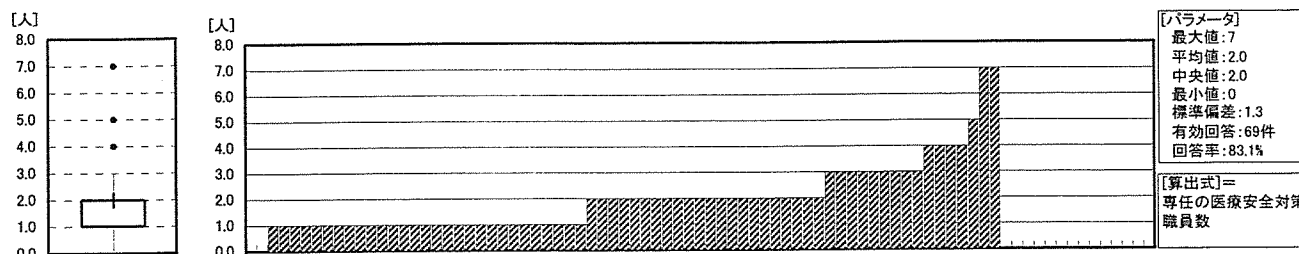
[定義]1)1看護単位を1病棟と定義する

8.全診療科数



[定義]1)医療法第70条に基づく標榜診療科数を記入する

9.専任の医療安全対策職員数

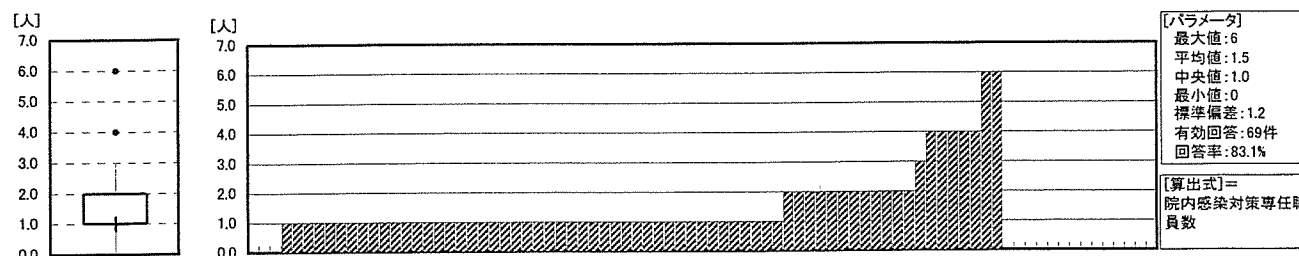


[定義]1)専任の医療に係る安全管理を行う職員数を記入する

2)専任とは、専ら安全管理業務に従事する者であり、他部門と兼任していない者をさす

3)職種・資格は問わない

10.院内感染対策専任職員数

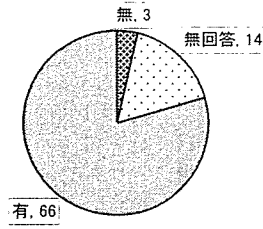


[定義]1)専任の院内感染対策を行う職員数を記入する

2)専任とは、専ら院内感染対策業務に従事する者であり、他部門と兼任していない者をさす

3)職種・資格は問わない

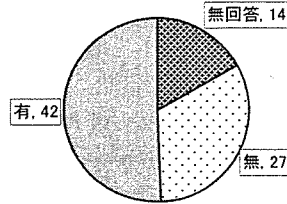
11. 地域医療提携部門の設置の有無



[パラメータ]	
有	: 66
無	: 3
無回答	: 14
有効回答	: 69件
回答率	: 83.1%

[定義]1) 地域連携や退院支援、病診連携といった役割を担う部門をさす

12. 栄養サポートチーム(NST)の有無

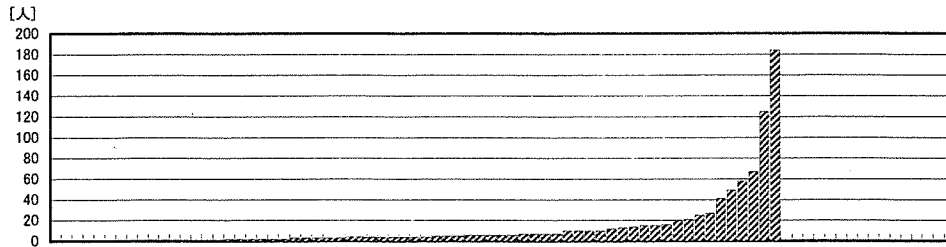
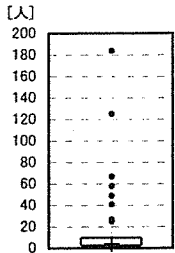


[パラメータ]	
有	: 42
無	: 27
無回答	: 14
有効回答	: 69件
回答率	: 83.1%

[定義]1) 下記の1と2の条件をともに満たす場合、「有」とする

- ① NSTを病院内組織として少なくともも病院長あるいは施設長が認めていること
- ② 学会(日本静脈経腸栄養学会、日本病態栄養学会)による認定を受けていること

13. ボランティアの人数



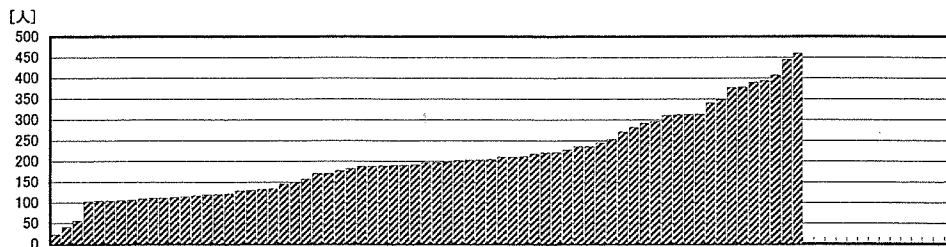
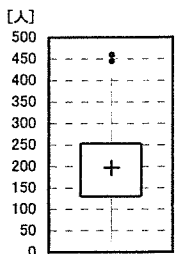
[パラメータ]	
最大値	: 184
平均値	: 13.1
中央値	: 4.0
最小値	: 0
標準偏差	: 28.7
有効回答	: 67件
回答率	: 80.7%
[算出式]= ボランティアの人数	

[定義]1) 調査指定日に働いているボランティアの数を記入する

2) ボランティア登録者数ではない

2. 職員数

14. 看護師数(日勤帯)

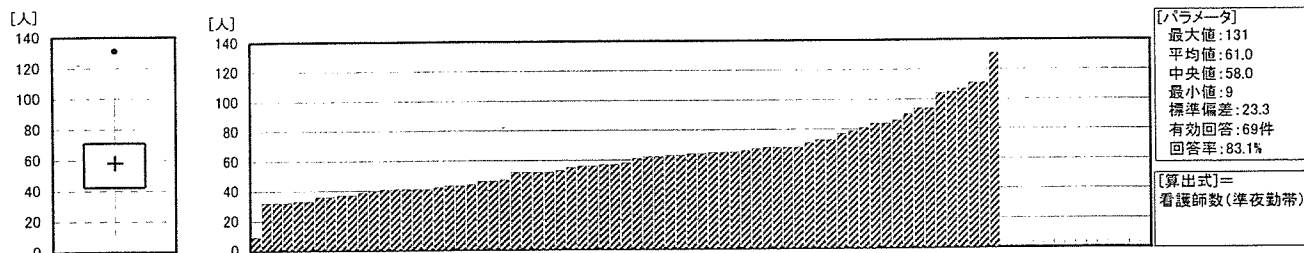


[パラメータ]	
最大値	: 460
平均値	: 207.6
中央値	: 197.0
最小値	: 23
標準偏差	: 98.0
有効回答	: 69件
回答率	: 83.1%
[算出式]= 看護師数(日勤帯)	

[定義]1) 調査指定日の日勤帯(10:00)に、一般病棟に勤務している看護師の実人数を記入する。

2) 深夜勤帯の者が残業していた場合についてはこれを含まない。

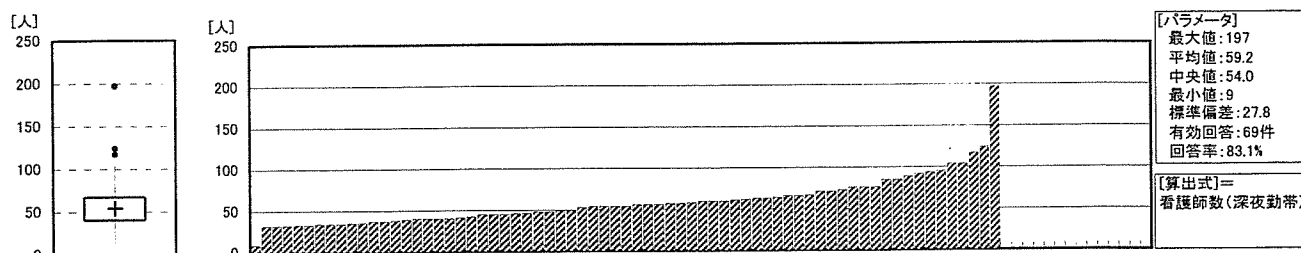
15.看護師数(準夜勤帯)



[定義]1)調査指定日の準夜勤帯(21:00)に、一般病棟に勤務している看護師の実人数を記入する。

2)日勤帯の者が残業していた場合についてはこれを含まない。

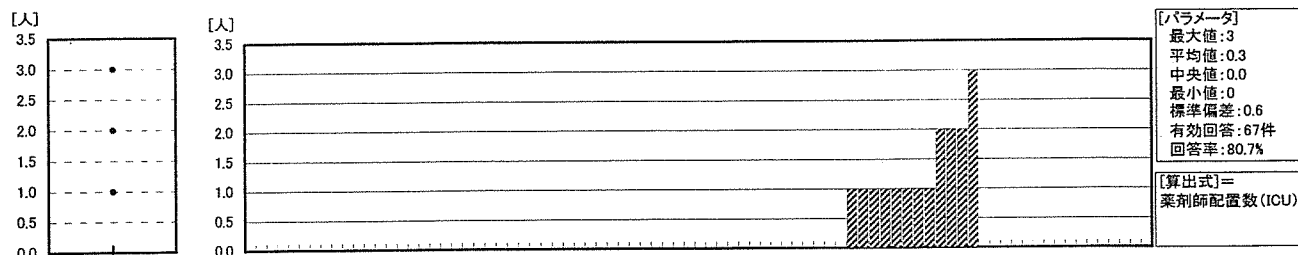
16.看護師数(深夜勤帯)



[定義]1)調査指定日の深夜勤帯(3:00)に、一般病棟に勤務している看護師の実人数を記入する。

2)準夜勤帯の者が残業していた場合についてはこれを含まない。

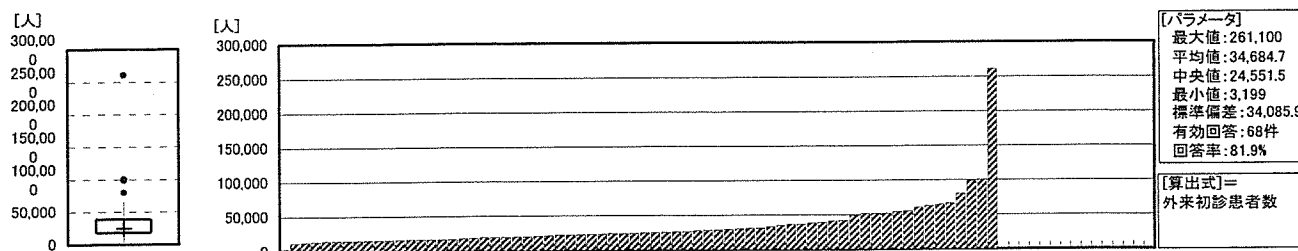
21.薬剤師配置数(ICU)



[定義]1)ICU専任の薬剤師数を記入する

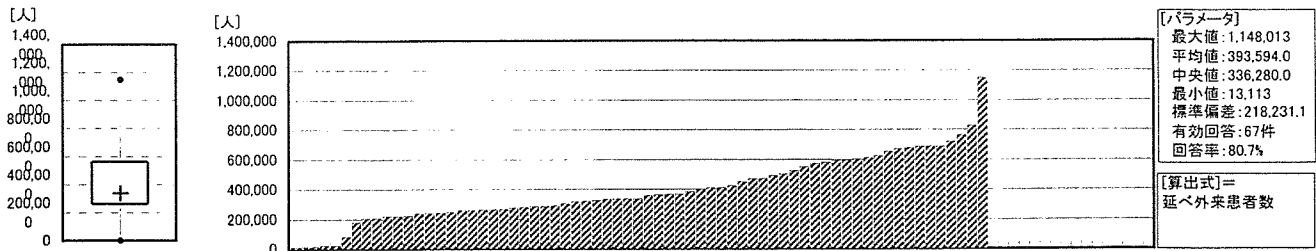
3.患者数-外来患者数

25.外来初診患者数



[定義]1)初診料を算定した患者数を記入する

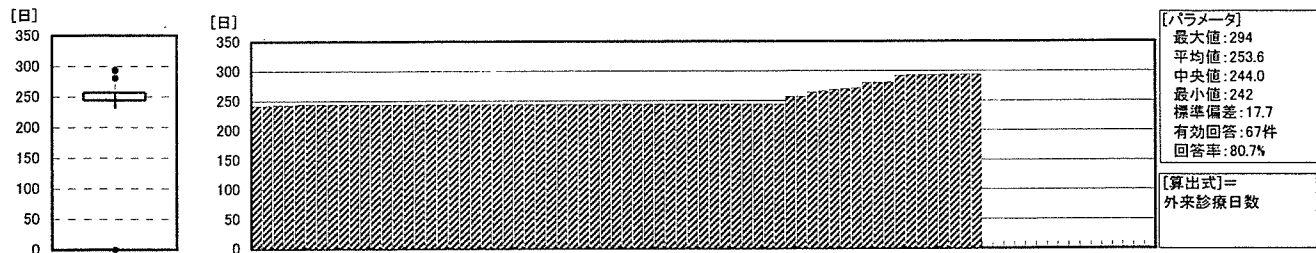
26.延べ外来患者数



[定義]1)原則としてカルテを作成した者の延べ数を記入する

2)重複診療科受診、入院患者の外来受診、救急患者/健康診断実施者の取扱、患者代理人への薬品の交付についてもカルテ作成の有無にてカウントするか否かを判断する。

28.外来診療日数



[定義]1)期間中の休祝日を除く外来診療実日数を記入する

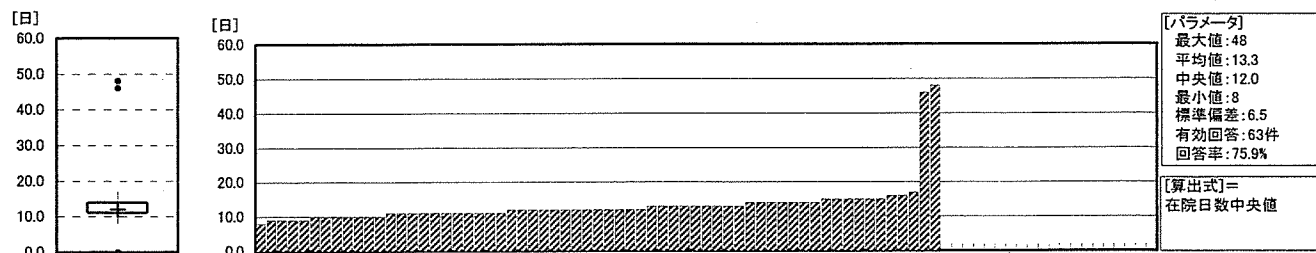
2)土曜日については診療を行っていれば診療日に加える

3)半日診療であれば0.5日として計算する

4)救急外来については対象としない。

5. 患者数—入院患者数

40.在院日数中央値

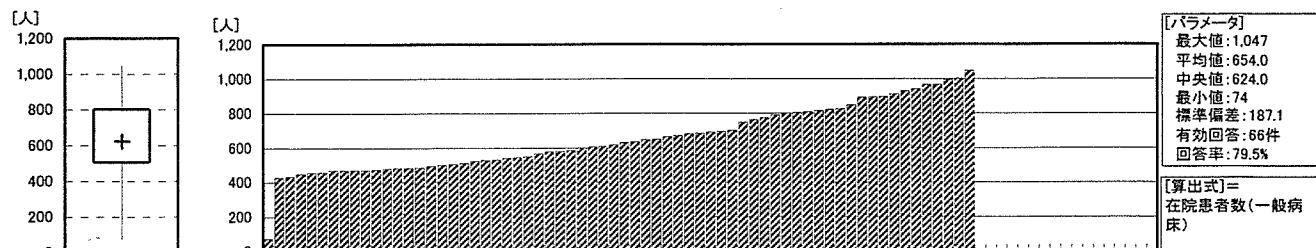


[定義]0)様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

1)期間中の一般病床退院患者を対象とし、在院日数の中央値(測定値を大きさの順に並べた際中央にくる値)を記入する

2)測定数(N)が奇数の場合、(N+1)/2番目の値を記入し、偶数の場合(N/2)番目と(N/2)+1番目の値の平均値を記入する。たとえば測定が5つあれば3番目の値になる。

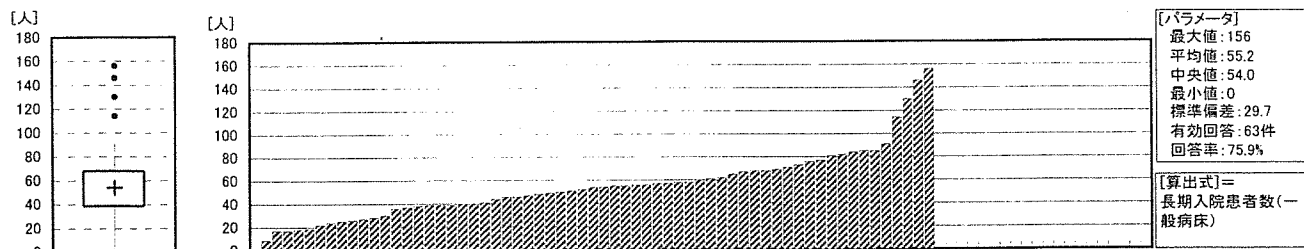
41.在院患者数(一般病床)



[定義]1)調査指定日24時における一般病床入院患者数を記入する

2)調査指定日に退院した患者は含まない

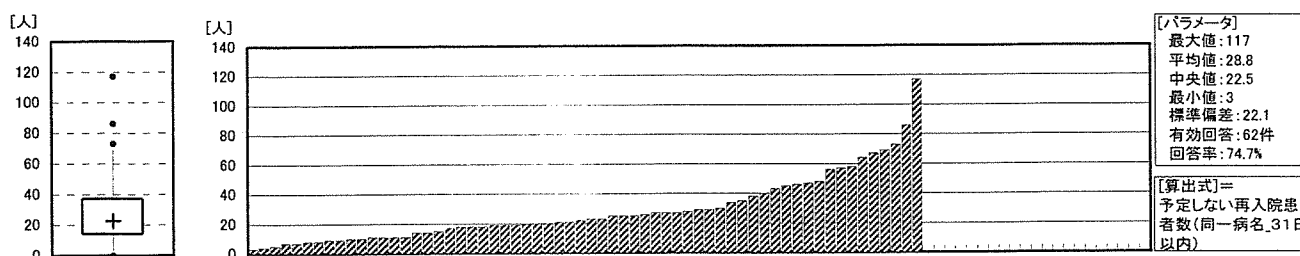
42.長期入院患者数(一般病床)



- [定義]1) 調査指定日24時における一般病床入院患者のうち在院日数が90日以上 of 患者数を記入する
 2) 調査指定日に退院した患者は含まない

7. 患者数-再入院患者数

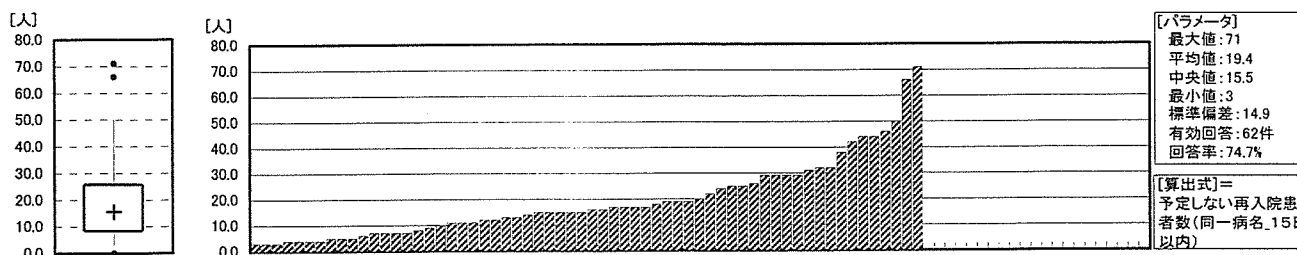
58. 予定しない再入院患者数(同一病名_31日以内)



[定義]0) 様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

- 1) 前回退院から31日以内に再入院となった患者について、前回入院の医療資源を最も投入した病名と、今回入院契機病名が一致した場合(ICD-10コード)
- 2) 同一疾患の悪化または再発症例を対象とする
- 3) 今回の入院目的が検査入院と計画的再入院であるものを除く

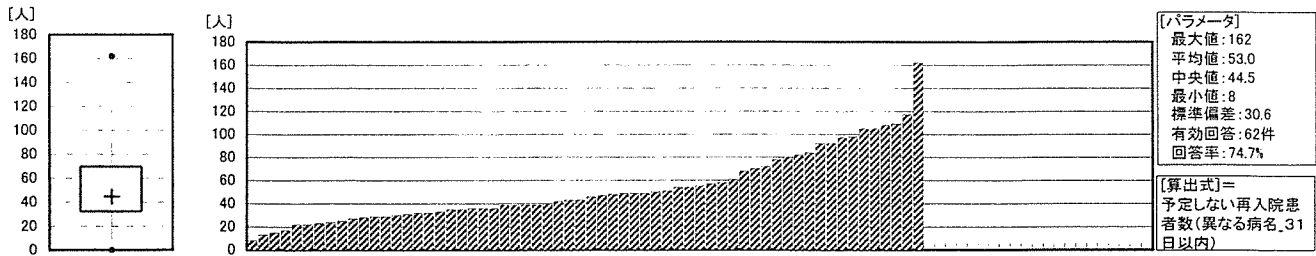
59. 予定しない再入院患者数(同一病名_15日以内)



[定義]0) 様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

- 1) 前回退院から15日以内に再入院となった患者について、前回入院の医療資源を最も投入した病名と、今回入院契機病名が一致した場合(ICD-10コード)。
- 2) 同一疾患の悪化または再発症例を対象とする。
- 3) 今回の入院目的が検査入院と計画的再入院であるものを除く。

60. 予定しない再入院患者数(異なる病名_31日以内)

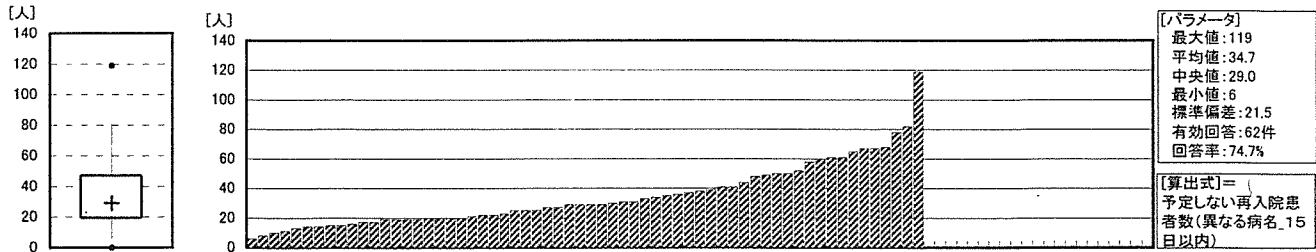


[定義]0)様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

1)前回退院から31日以内に再入院となった患者について、前回入院の医療資源を最も投入した病名と、今回入院契機病名が異なる場合(ICD-10コード)。

2)今回の入院目的が検査入院と計画的再入院であるものを除く。

61. 予定しない再入院患者数(異なる病名_15日以内)

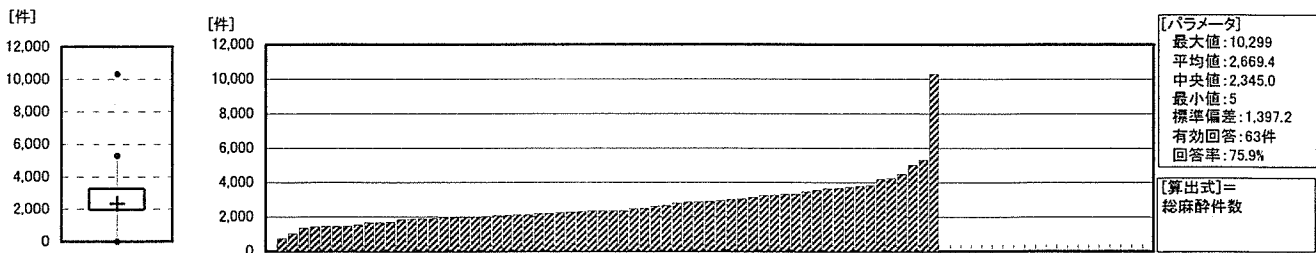


[定義]0)様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

1)前回退院から15日以内に再入院となった患者について、前回入院の医療資源を最も投入した病名と、今回入院契機病名が異なる場合(ICD-10コード)。

2)今回の入院目的が検査入院と計画的再入院であるものを除く。

95. 総麻酔件数



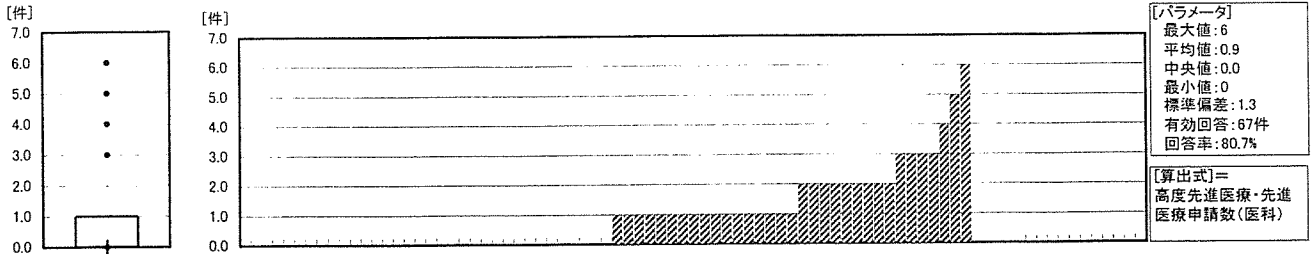
[定義]0)様式1と様式5(Gファイル)を提出いただければ調査不要です。

1)期間中の退院患者を対象とし、当該入院中に実施した手術のうち麻酔を行った件数を記入する。

2)麻酔が併用されている場合でも、1手術1カウントとする。

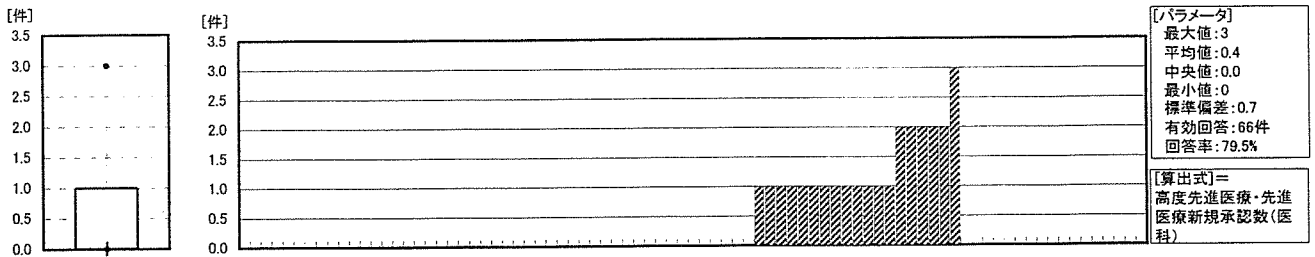
3)麻酔は局所麻酔などすべての麻酔を含むものとする。

103.高度先進医療・先進医療申請数(医科)



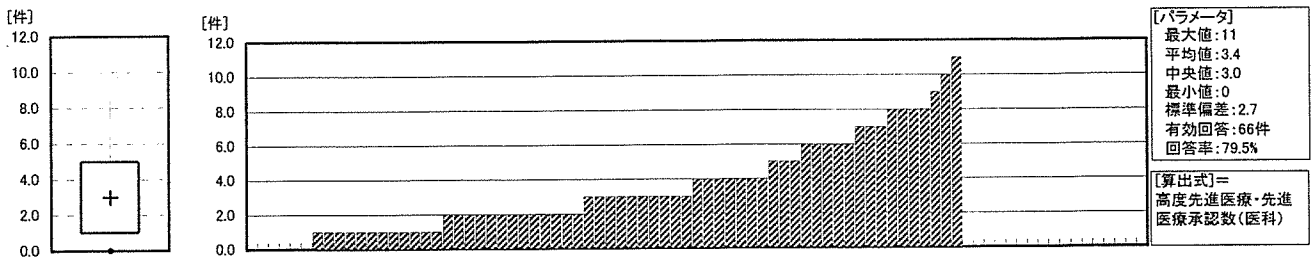
[定義]1)期間中に新規に申請した高度先進医療・先進医療(医科)の数を記入する。

104.高度先進医療・先進医療新規承認数(医科)



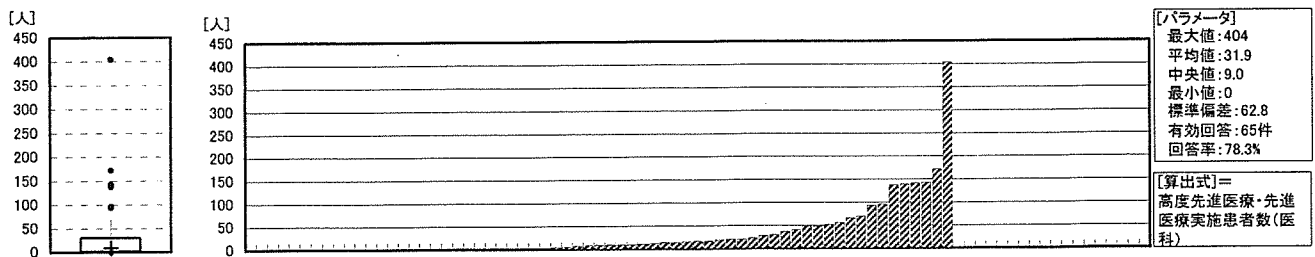
[定義]1)申請したもののうち、期間中に新規に承認された高度先進医療・先進医療の数(医科)を記入する。

105.高度先進医療・先進医療承認数(医科)



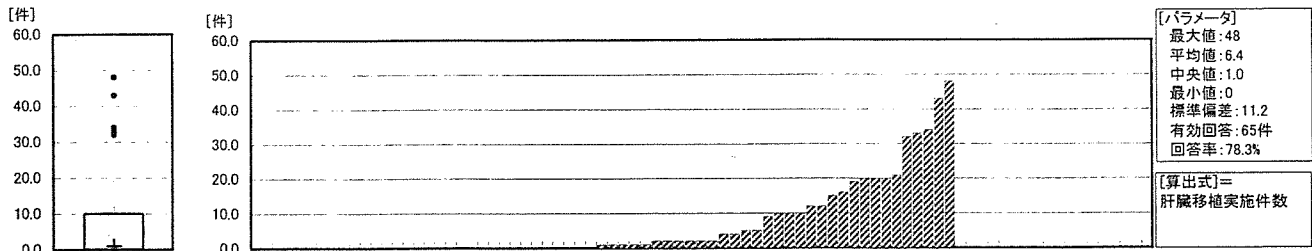
[定義]1)調査指定日現在に承認されている高度先進医療・先進医療(医科)の数を記入する。

106.高度先進医療・先進医療実施患者数(医科)



[定義]1)期間中に高度先進医療・先進医療(医科)を実施した患者数を記入する。

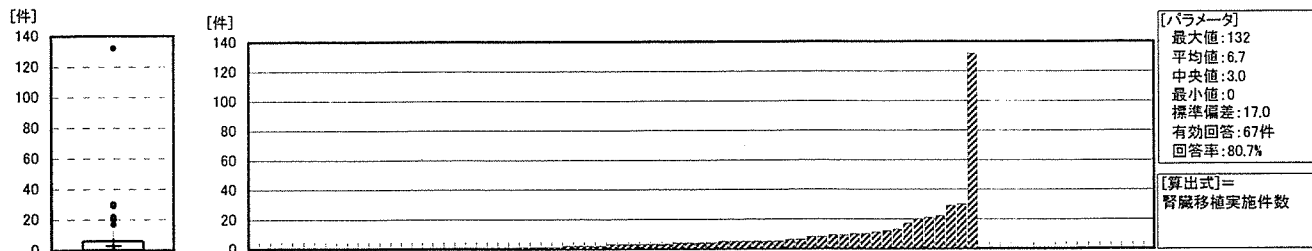
107.肝臓移植実施件数



[定義]1)期間中に実施された肝臓移植の件数を記入する。

2)ICD-9-CM:50.5-に該当する。

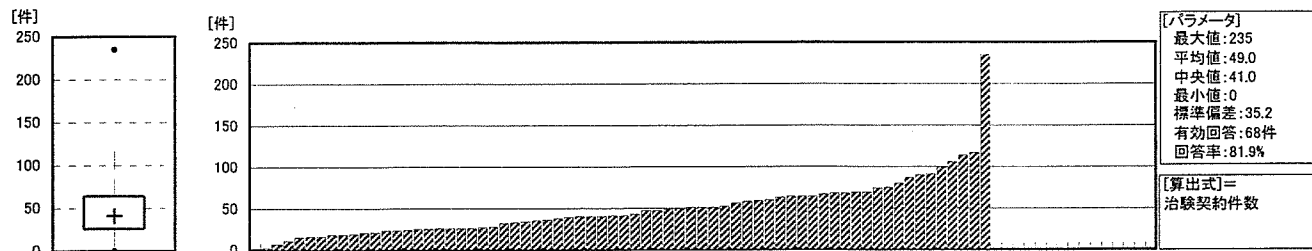
108.腎臓移植実施件数



[定義]1)期間中に実施された腎臓移植の件数を記入する。

2)ICD-9-CM:55.6-に該当する。

111.治験契約件数

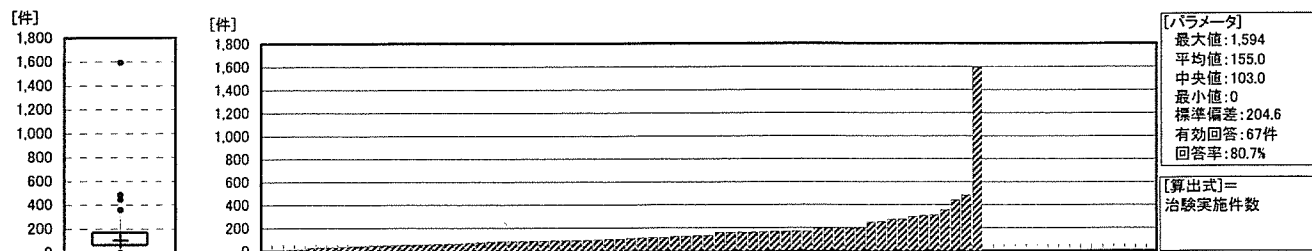


[定義]1)当該年度の治験契約件数(プロトコル数)を記入する。

2)新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数を記入し、外来入院の別を問わない。

3)「治験」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治験(薬事法(昭和35年法律第145号)第2条第7項に規定する治験)とする。

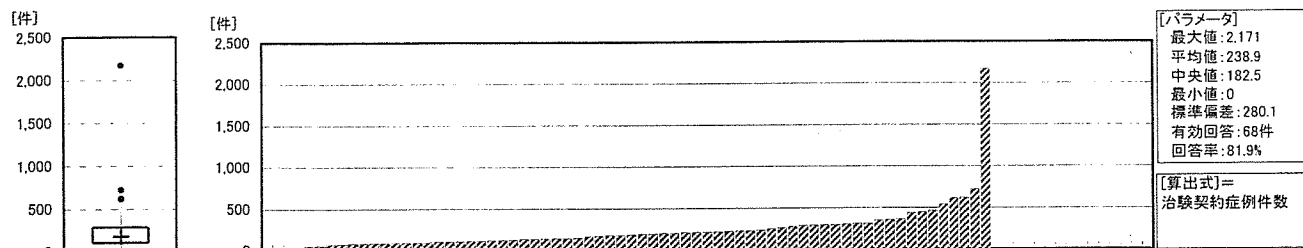
112.治験実施件数



[定義]1)期間中の治験実施患者数を記入する。プロトコル数ではない。

2)「治験」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治験(薬事法(昭和35年法律第145号)第2条第7項に規定する治験)とする。

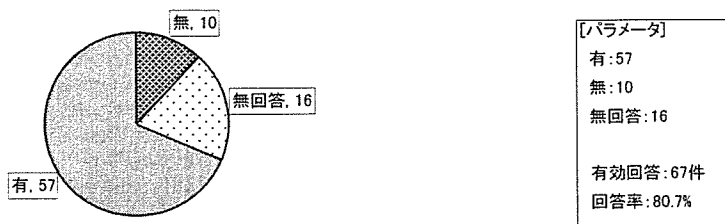
113.治験契約症例件数



[定義]1)期間中の治験実施予定患者数を記入する。プロトコル数ではない。

2)「治験」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治験(薬事法(昭和35年法律第145号)第2条第7項に規定する治験)とする。

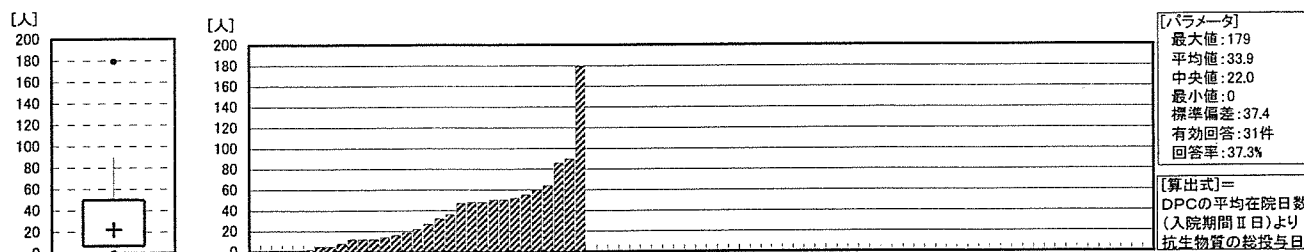
121.1 患者1カルテ体制の有無



[定義]1)入院外来ともに以下の二つの条件を満たす場合、「有」とする。

- ①患者に対して診療科を超えて同一のIDが付されている。
- ②カルテが病歴部等で中央管理されている。

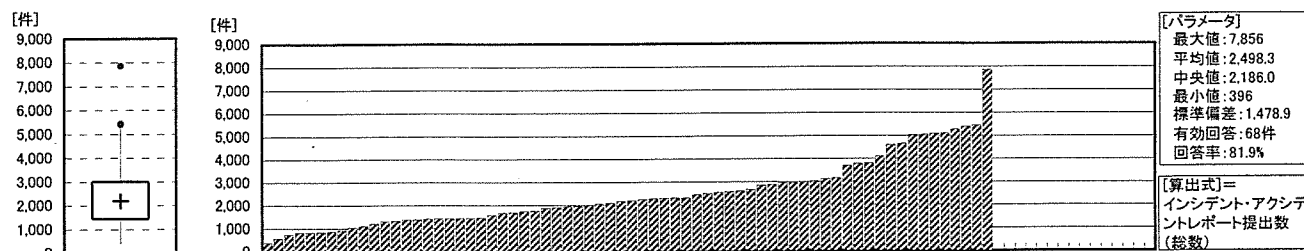
127.DPCの平均在院日数(入院期間Ⅱ日)より抗生物質の総投与日数が長い患者数



[定義]1)期間中の退院患者を対象とし、DPCで決められた在院日数(入院期間Ⅱ日)より抗生物質の総投与日数が長い患者数を記入する。

2)抗生物質は、バンコマイシン、メロペン、チエナム、アルベカシン、テイコプラニンの5種類を対象とする。

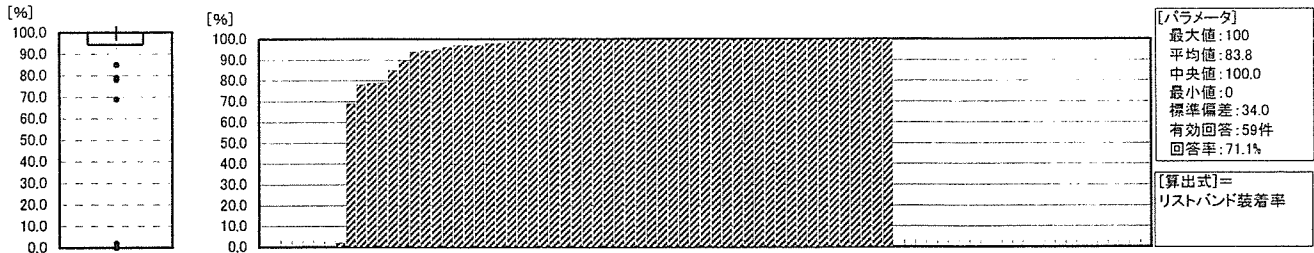
128.インシデント・アクシデントレポート提出数(総数)



[定義]1)期間中の全インシデント・アクシデントレポート提出数を記入する。

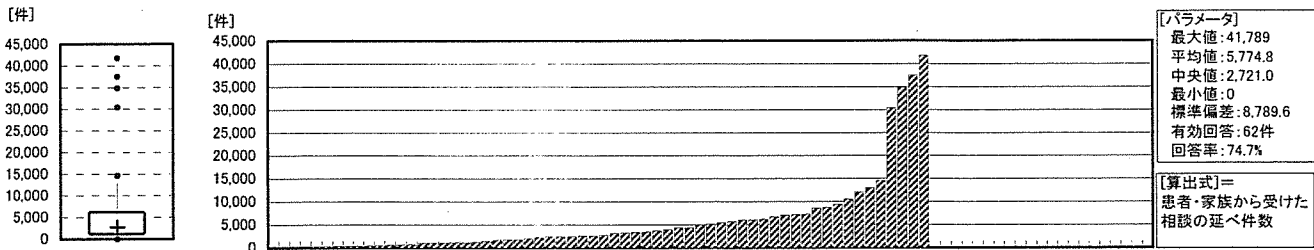
2)同一のインシデント・アクシデントに対して複数の報告があった場合には、重複も含めた総数とする。

137.リストバンド装着率



[定義]入院患者(15歳未満を除く)のうち、リストバンド(ネームバンド)を常時装着している患者の割合。

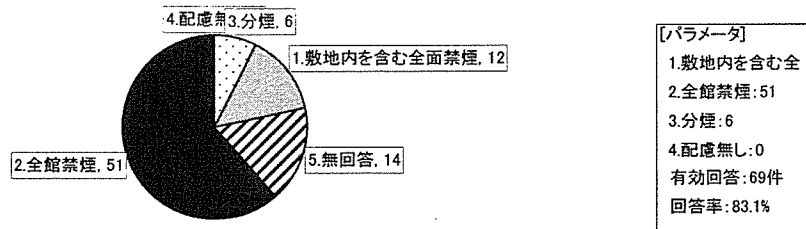
158.患者・家族から受けた相談の延べ件数



[定義]1)期間中に患者・家族(入院外来不問)から相談を受けソーシャルワークを行った延べ件数を記入する。

2)医療ソーシャルワーカーが実施したものに限り、業務は「医療ソーシャルワーカー業務指針(平成14年11月29日)」に基づく。ただし地域活動援助、デイケア等グループ援助件数は含まない。

163.院内禁煙実施の状況

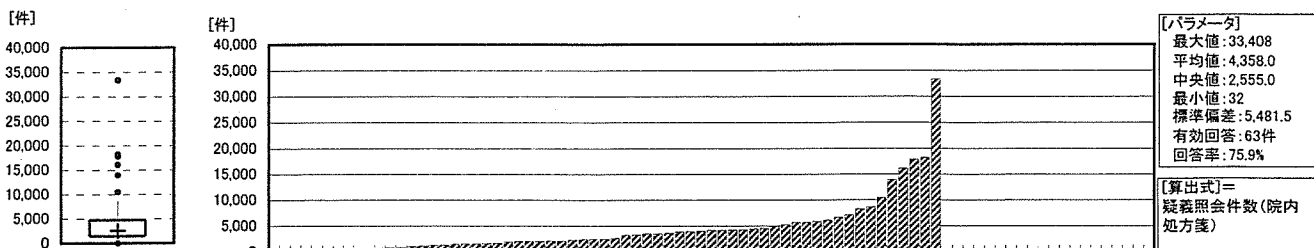


[定義]1)以下の1~4より最もあてはまる状況を選択し、該当する数値を記入する。

2)精神科、緩和ケア病棟については対象としない。

3)【選択回答】 1敷地内を含む全面禁煙 2全館禁煙 3分煙 4配慮無し。

186.疑義照会件数(院内処方箋)

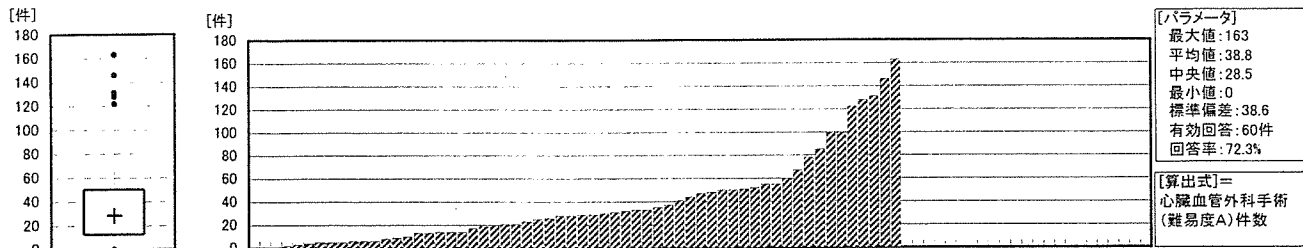


[定義]1)期間中に薬剤師法第24条に基づき疑義照会を行った件数を記入する。

2)1枚の処方箋について2項目の疑義照会を行った場合には2件と計上する。

3)院内処方箋とは、入院処方箋(内服外注射)と院内外来処方箋(内服外注射)を指す。

213.心臓血管外科手術(難易度A)件数

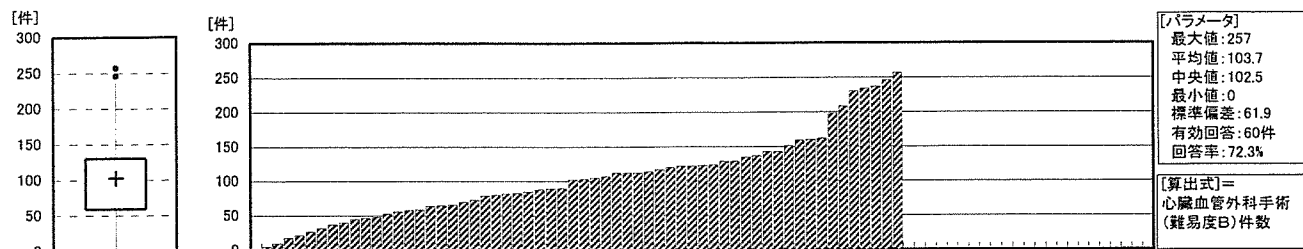


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する難易度Aに該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料④手術術式難易度表をさす。

214.心臓血管外科手術(難易度B)件数

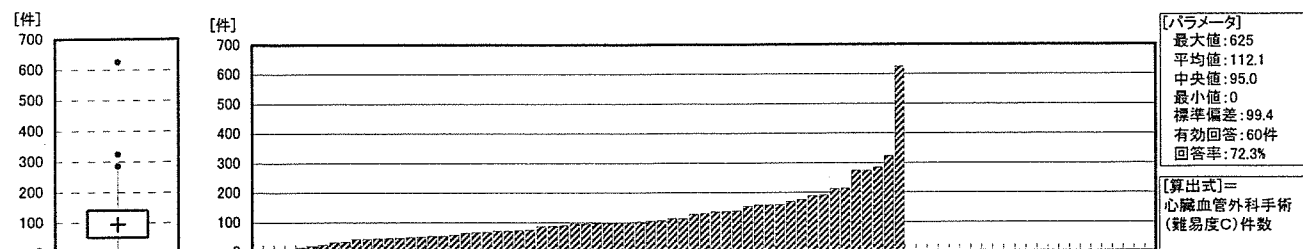


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する難易度Bに該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料④手術術式難易度表をさす。

215.心臓血管外科手術(難易度C)件数

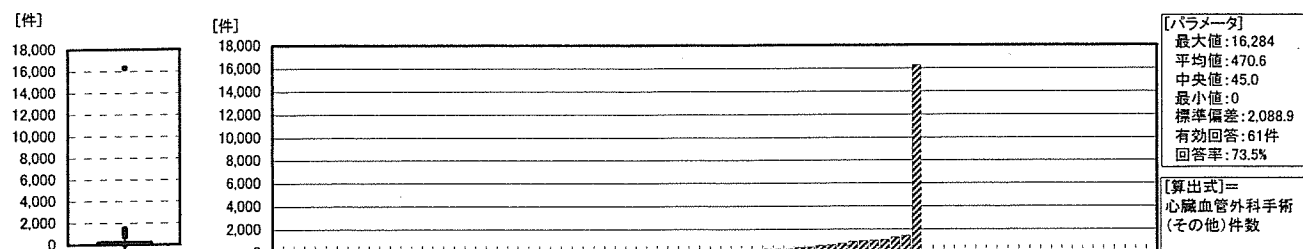


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する難易度Cに該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料④手術術式難易度表をさす。

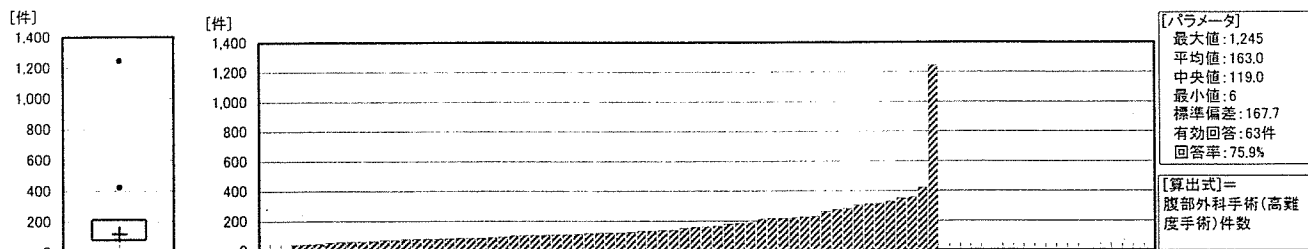
216.心臓血管外科手術(その他)件数



[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する難易度A～Cに該当しない手術件数を記入する。

2)別紙とは、補足資料④手術術式難易度表をさす。

223.腹部外科手術(高難度手術)件数

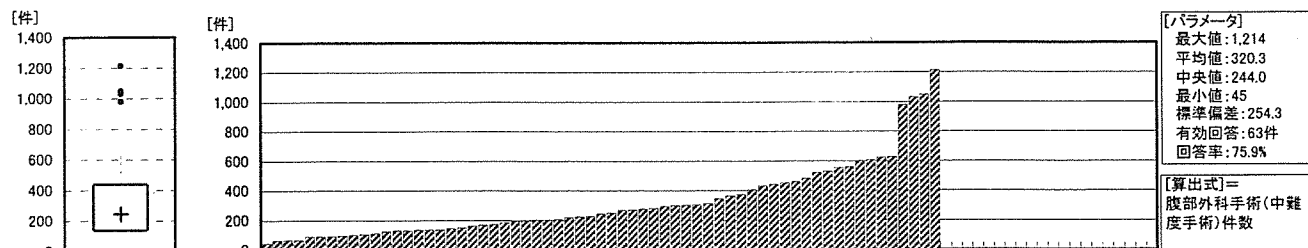


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する高難度手術に該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料⑤手術術式難易度表をさす。

224.腹部外科手術(中難度手術)件数

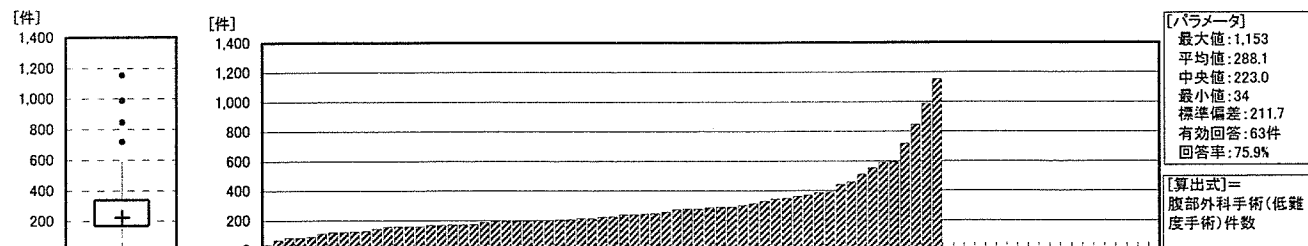


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する中難度手術に該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料⑤手術術式難易度表をさす。

225.腹部外科手術(低難度手術)件数

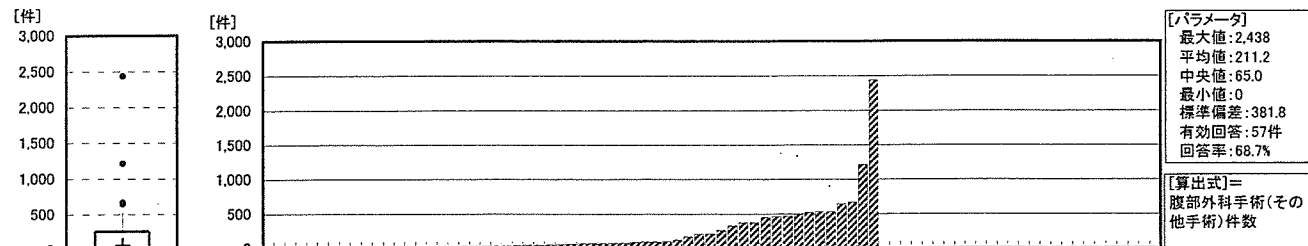


[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する低難度手術に該当する手術件数を記入する。

2)期間中の各手術件数の総和を計上する。

3)別紙とは、補足資料⑤手術術式難易度表をさす。

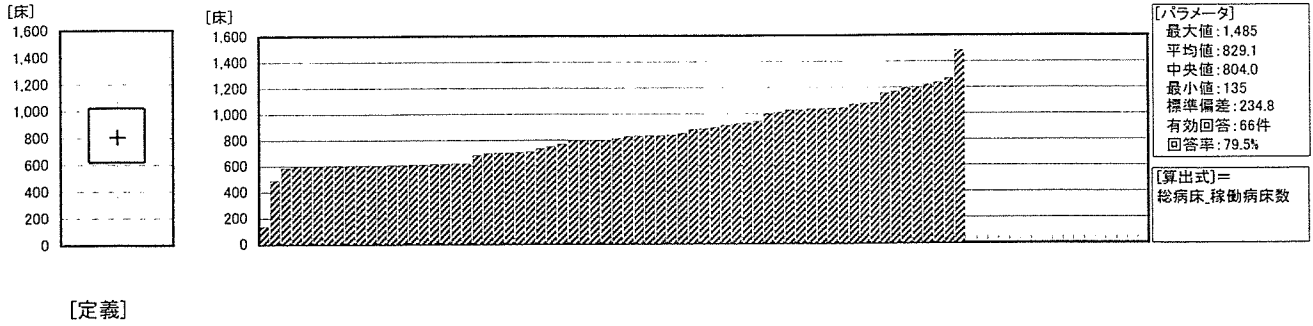
226.腹部外科手術(その他手術)件数



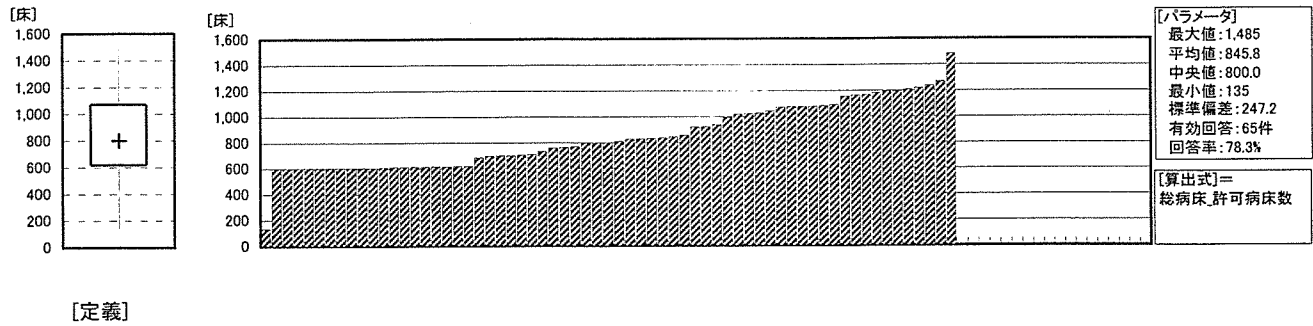
[定義]1)期間中に行われた別紙に定義する高～低難度手術に該当しない手術件数を記入する。

2)別紙とは、補足資料⑤手術術式難易度表をさす。

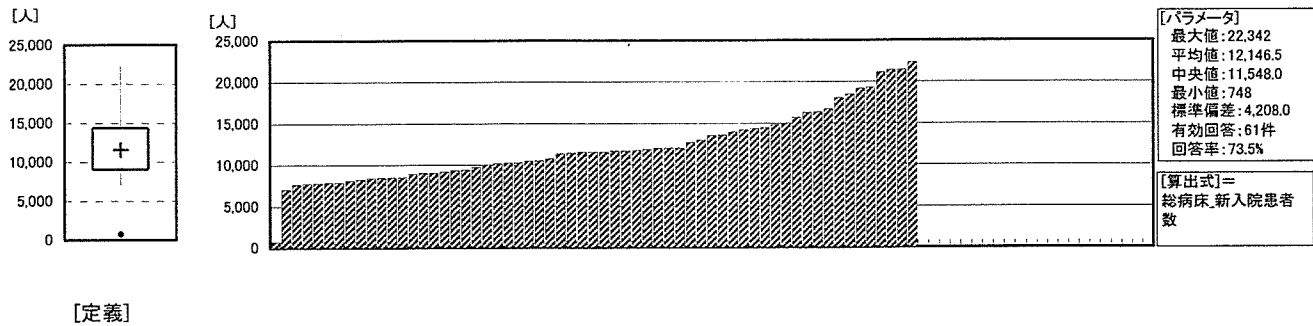
408.総病床_稼働病床数



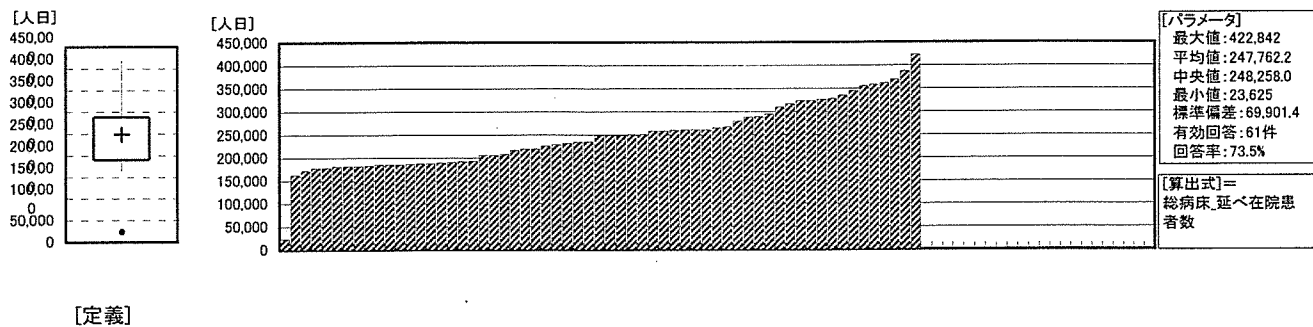
409.総病床_許可病床数



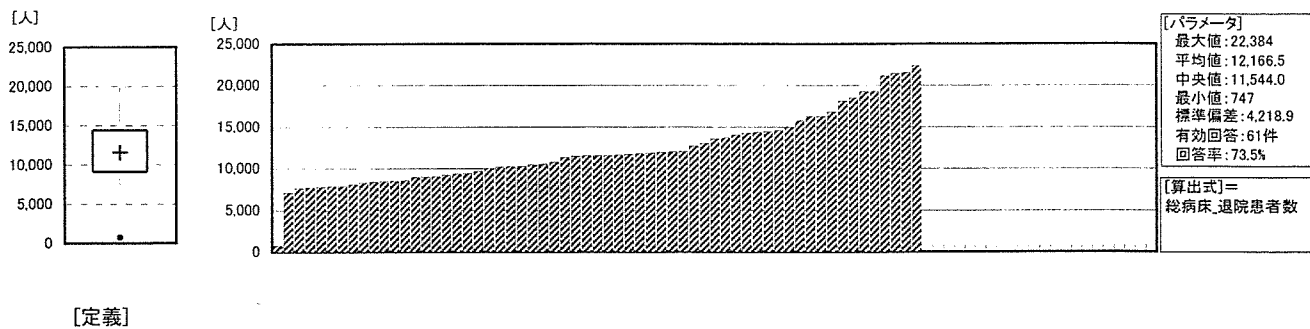
410.総病床_新入院患者数



411.総病床_延べ在院患者数

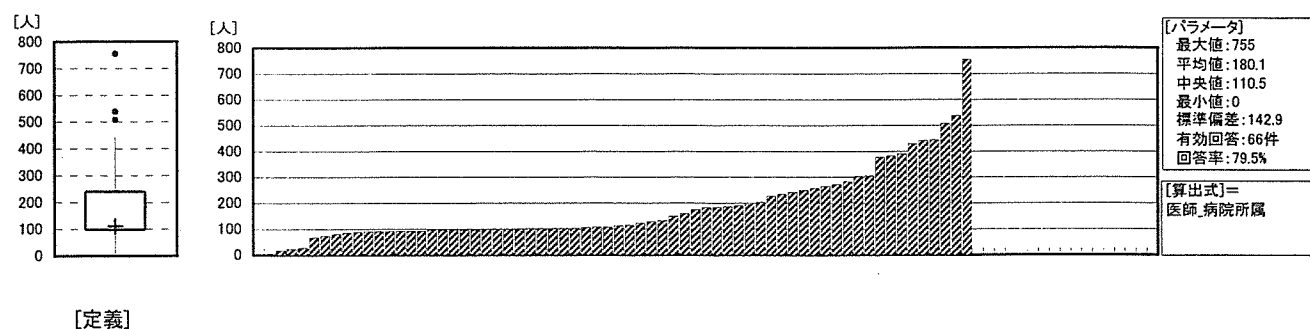


412.総病床_退院患者数

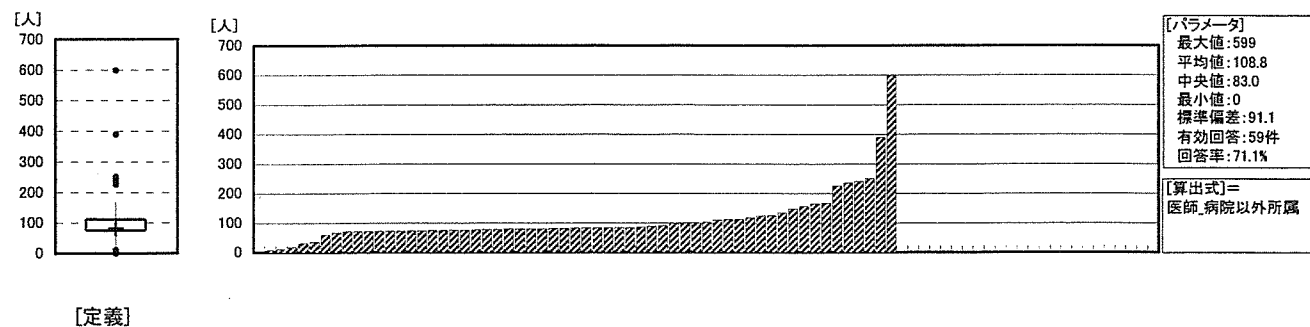


別紙2)職員数

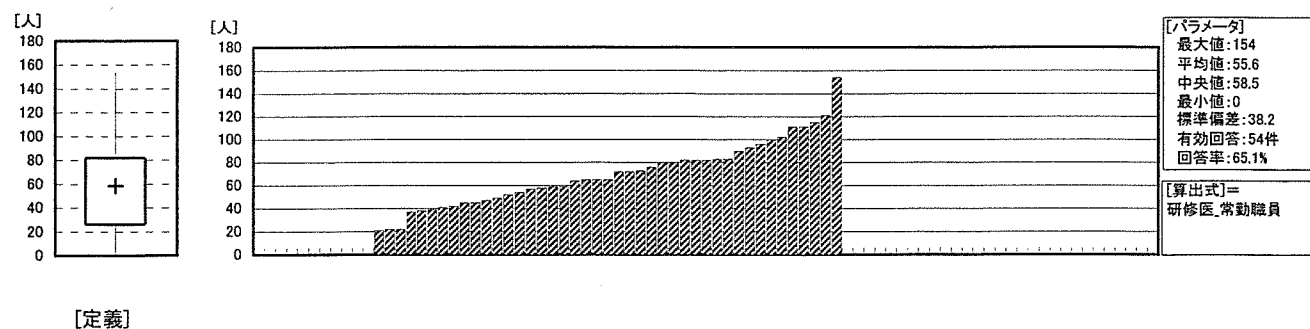
413.医師_病院所属



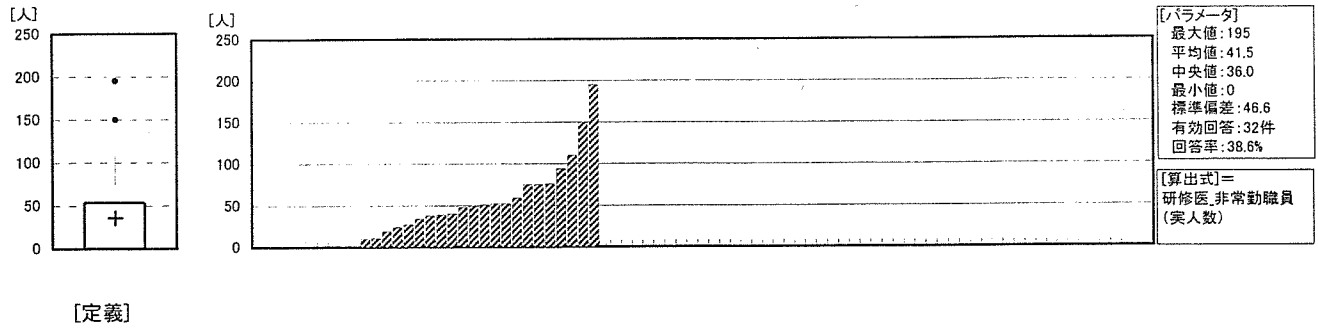
414.医師_病院以外所属



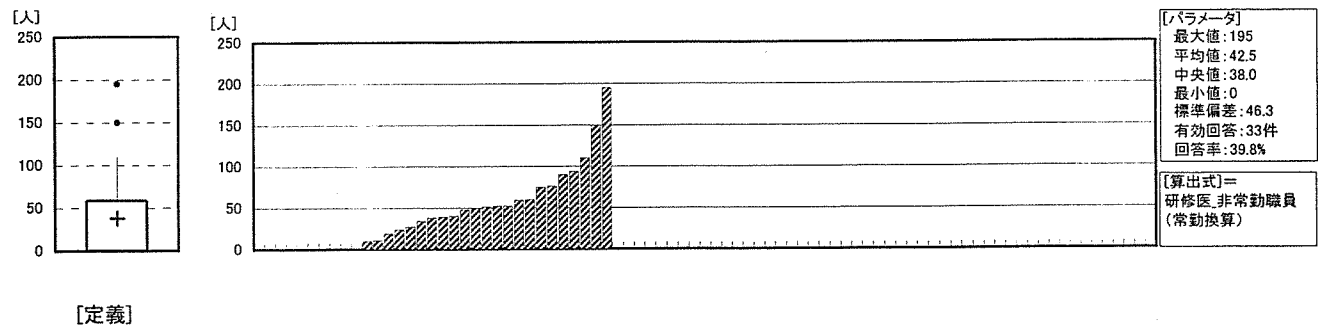
415.研修医_常勤職員



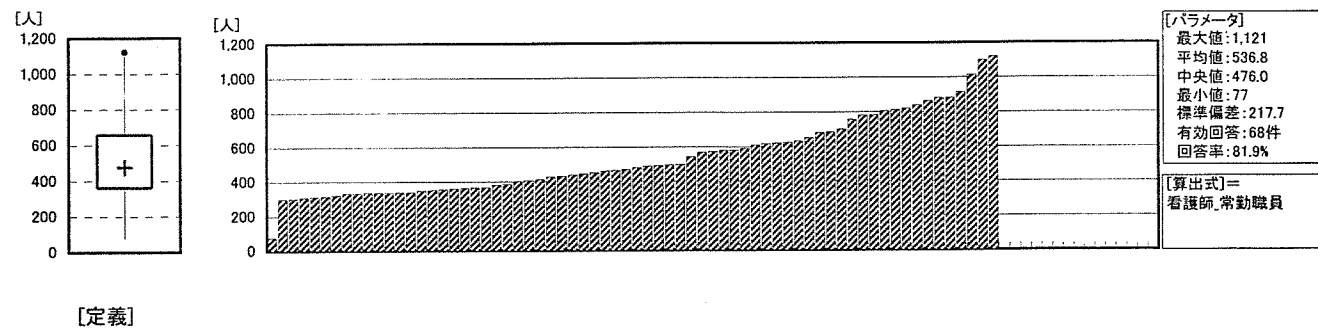
416.研修医_非常勤職員(実人数)



417.研修医_非常勤職員(常勤換算)



418.看護師_常勤職員



419.看護師_非常勤職員(実人数)

